

教育振興運動メールマガジン

「みんなで教振！」通信 ～ 今こそ“地域の底力”で立ち上がろう ～

< 目 次 >

- 1 【 家庭学習 】 新学期のスタートにあたり
 - 2 【 教振は今 】 教ちゃん、振ちゃん見聞録
 - 3 【 編集後記 】 あつしのひとりごと
-

1 【 家庭学習 】 新学期のスタートにあたり

「これは熱い」と思い込ませれば、氷に触れてもやけどの痕ができます。人間の暗示力は、それほどすごい力を持っています。この自己暗示という力を活かして「絶対に覚えられる」と自分に思い込ませれば、記憶力は向上します。

自己暗示の力を高めるために必要なのは、「できた！」という成功体験です。「どうせ無理！」とすぐにあきらめてしまう自己肯定感が低い人は、自己暗示をかけることは難しいでしょう。

「できた！」と子どもに思わせるには、周りの大人（先生・親・地域の方）が子どもを肯定し、たくさん褒めてあげることが大切です。「できた！」という成功体験を植え付けるサポート役になりましょう。

テストの点数が50点の時でも、「どうして、50点しか取れないの！」とマイナスの50点を見て叱るのではなく、「50点も取れてすごいじゃないか！」とプラスの50点を褒めてあげると「できた！」と思うのではないのでしょうか。

のどが渴いたあなたの目の前に、水が半分入ったコップがあります。「半分しか入っていない」と不平を言うのか。それとも、「半分も入っている」と感謝するのか・・・。「コップに水が半分入っている」という現象は変わりありません。その現象に対して、あなたがどう思うか・・・です。見方次第です。

そして、「どうして、50点しか取れないの！」とテストの結果（学習の定着状況）を非難する前に、学習の定着作業である“家庭学習”に集中できる環境を、親として整えてあげていただくかを振り返ることも必要です。

世の中は、自分が投げかけた結果が、現象として自分に返ってきます。働きかければ、働きかけた結果が返ってきます。働きかけなければ、その結果が返つ

てきます。「50点」という現象は、子どもの働きかけだけの結果でしょうか。

新学期のスタートにあたり、考えたいものです。

2 【教振は今】教ちゃん、振ちゃん見聞録

(教ちゃん) 今日は、みなさんにお知らせがありま～す。

(振ちゃん) お知らせがありま～す。

(教ちゃん) 実は・・・。地域の絆や人と人のかかわりの大切さを伝える教育振興運動のイメージソングを作りま～す。

(振ちゃん) 作りま～す。

(教ちゃん) ちょっと、振ちゃん。ふざけないでよ！

(振ちゃん) コーラスで～す。

(教ちゃん) それでね。イメージソングの歌詞を小学生・中学生、地域の皆さんから公募して、その中から優秀作品5作品を選ぶの。

(振ちゃん) うんうん。

(教ちゃん) その5作品を元にして、「希望郷いわて文化大使」のマンドリンシンガー“清心さん”が編集して作詞・作曲をしてくれるのよ。

(振ちゃん) わあ。自分が書いた歌詞を元にした歌が作られるんだね。

(教ちゃん) それだけじゃないのよ。CDになって、県内のすべての小中学校や市町村に配付されるの。優秀作品の作者の地域には、清心さんが直接訪問して、作った歌を披露してくれるのよ。

(振ちゃん) CDになるの？ すごいなあ！

(教ちゃん) いよいよ、私たちもデビューってことよ。

(振ちゃん) ということは・・・。

(教ちゃん) そうよ。今年のNHK紅白歌合戦には、紅組に出場よっ！

★小学生・中学生、地域の方からイメージソングの歌詞を大募集！

公募要項 ⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/imagesong.pdf>

(岩手県HP、まなびネットいわてHPでもダウンロードできます)

3 【編集後記】あつしのひとりごと

これまでも、被災市町村においてNPO等が中高生の学習支援に取り組んでいる様子を紹介してきました。また、県内外の大学生による学習支援の様子を新聞紙上等でご覧になった方も多いと思います。

国の被災地支援事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」

が12月からスタートしましたが、この事業を活用して陸前高田市では「学びの部屋」という中高生の学習支援事業を実施しています。

また、1月からは県立大学・岩手大学の大学生ボランティアを中高生の学習支援や地域コミュニティの交流のために沿岸市町村に派遣しています。大学生の派遣を希望される市町村がございましたら、お知らせください。両大学に派遣の依頼をいたします。

私立高校の入学試験はすでに始まっていますが、3月9日（金）の公立高校に入学試験に向けて、少しでも学習する時間と場所を確保し、精一杯頑張らせてあげたいと思います。

.....

1月22日（日）に田野畑村教育振興運動集約集会の講師としてお話をさせていただきました。運動の理念を考えて、被災して運動ができないと考えるのではなく、「被災したことで生じた地域の教育課題」を解決していく地域づくりのツールとして展開していきましょう。

教育振興運動は、岩手県の“地域の底力”です。

資料 ⇒ <http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/tanohatamura.pdf>

★メルマガの感想や日頃思っていること、意見・要望をお寄せください。

⇒ 21kyoushin@gmail.com

⇒ 第62号は、2月14日（火）配信です。

★バックナンバー（第1～61号）はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_bn.html

★全県共通課題（家庭学習と読書推進）の実践事例はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_zj.html

★メルマガで紹介しました資料はこちら。

⇒ http://www.manabi.pref.iwate.jp/kyoushin/indexk_s.html

~~~~~配信元~~~~~

\*岩手県教育委員会事務局 生涯学習文化課

\*発行人：教育振興運動担当 佐藤敦士（さとう あつし）

転送はご自由です。どんどん転送してください。口コミは、あなたから始まります。「みんなでやろう！」という雰囲気あなたから作りだしてください。

~~~~~